

護衛艦「かが」体験宿泊に参加 ～護衛艦に宿泊！！魅力満載の宿泊体験～

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 松田 桃子・陸佐）は8月23日（土）から24日（日）の間に実施された募集対象者5名の護衛艦「かが」体験宿泊参加を支援した。

この体験宿泊は、横須賀基地の岸壁に停泊している護衛艦「かが」に1泊2日で宿泊するもので、海のない栃木県ではなかなか体験できない海のイベントに、参加者たちは皆とても楽しみにしている様子であった。

当日は、雲一つない夕暮れ時に横須賀基地の岸壁に到着すると、まず大きな護衛艦が目に入り、参加者たちはその大きさに驚いた様子であった。乗艦する前は参加者から「緊張する」と言葉が出ており表情が硬くなっていたが、乗艦し、海上自衛隊及び護衛艦の説明を受けていると楽しそうな笑顔が増え、体験喫食が終わるころには緊張も解け、食堂の広さと食事の内容に目を輝かせていた。喫食後は、巡検随員（当直が艦内を巡回して、異常がないかの点検をするもの）を体験し、隊員との懇談を行うなど護衛艦の一日を満喫し就寝した。

次の日は海上自衛隊が保有するヘリの体験搭乗もつて終了し、参加者は海上自衛隊にすっかり興味を抱いた様子であった。参加者は「あっとという間の2日間でした。普段は絶対に体験できない護衛艦の宿泊や内部を見ることができ嬉しかったです」と笑顔で話してくれた。

栃木地本は「今後も、各種イベントを通じ募集対象者等に自衛隊の魅力を発信するとともに、艦艇広報は海のない栃木県で海上自衛隊を体験してもらえらる特別なチャンスと捉え、積極的に活用していく」としている。



護衛艦「かが」『大きい！！』



いざ！艦内へ！



体験喫食 広い！綺麗！美味しい！



退艦の様子「おかえりなさい」



護衛艦「かが」前で集合写真